

O : そうです。

Int : 船は大丈夫なんですか？港とか。

O : 港も駄目だったんですけど、船も流されてしまって、今は、広島の方で造った船をまた持って来て、今はちゃんと運航してます。港も一応使える様にはなってます。

Int : 向こうの観光って、今、どのぐらい戻ったんですか？

O : 全然戻ってないです。

Int : そうですね。仕事は割と早く見つかった様ですけど…。

O : 一応、今の観光協会の前は、9月までNPOのボランティアをやってたんですね。大島の方を中心とした、車の貸出の仕事をしていて、それがもう9月いっぱい終わるので、NPOの団体の方から今のところを紹介してもらって。

Int : そうですね、よかったですね。アンケートに自宅避難者の支援とか、心のケアも必要だというようなことを書かれてますが、例えば具体的にどんな事ですかね？物質的なことですか？

O : これは、やっぱり避難所に居ても、家がある人は帰れとか、ミルクもあげない状況だったんで。私の知り合いでも居たんですけど、家で水とか出なかったんで、避難所に避難した方が居たんですよ。どうしようもなく、アパートもっていう事で。そしたら、やっぱり、「子どもが泣くからうるさい」とか言う方がすごい居て、そこまで差別じゃないんですけど、家があるだけで過剰にワーっと言われてる方が居たので、なんかもうちょっと、家があっても、みんな同じって言ったらおかしいですけど。

Int : 家があるってということで、なんとなく差別っていうか、家が残ってるからまだましだろう、という。

O : そうです。差別されちゃうんです。家があるのに、なんでここに来るのかみたいな。

Int : やっぱり避難所って、全壊とか津波の被害に遭った人の割合が多いんですかね？

O : そうです。家があるんだから、早く出て行けみたいなことを言われたっていう方も居たので。

Int : そうですね。赤ちゃんだと直接関係ないんですけども障害者の人や病気の人が入る、福祉避難所が、仙台辺りにできたらいいんですけど、そういうの聞いた事ありましたか？

O : そうなんですか？ないです。

Int : 気仙沼であったみたいですか？そういうの。

O : いや、聞いてないですね。

Int : 気仙沼でも恐らく、病気の人とか、介護が必要な人とか、発達障害のお子さんとか、色々と大変な状況だったんだろうとは思んですけども。

O : 全くそういう情報も何も入って来ないので。避難所に居れば、そういう情報も入るかも知れないんですけど、自宅だと全くそういう情報がないです。

Int : 自宅だと全くないですか。とりあえず、携帯、固定電話が駄目で、停電してれば、テレビもなんもないですよ。

O : なんにもないです。なので、ラジオ。

Int : ラジオからは、情報が入って来ましたか？

O : 災害FMがあったんですけど、全くそういう情報はない。

Int : 支援物資がどこにあるとか、赤ちゃんいる人には、どうだとかっていう情報はないですか？

O : ないです。

Int : 道路がどうだとか、そういう話ですかね。

O : 死体安置所とかそういう道路のこととか、そういう話が多いですけど、その他は、全然入って来な

かったですね。

Int：いわゆるママ友みたいな人とかも、最初のお子さんですし、産んですぐだからいないですかね。

O：私の同級生のお姉ちゃんとか、お子さんが居る方も、結構、知り合いでは居たんですけど、携帯も使えないので、連絡しようもないし…。車走らせても、ガソリンも入れられる状況じゃなかったの、どこにも行けないっていうのもあって、2週間ぐらいは、全然家から出ない生活でした。外に行くのは、その給水所とか、物資の配給の時ぐらいで。

Int：その時には、情報とかってなにかありましたか？物資の配給とか、給水所とかで。

O：ないです。物資の配給してたのも、給水に行く途中に人がワーッと集まってて、あ、何してるんだろう？って思ったら、その物資配給とかだったんですね。

Int：予め分かってたんじゃなくって、偶然分かったみたいな感じなんですか？

O：そうです。でも、行くとやっぱり、「いや、何も家あるんだから来る必要ないでしょ」みたいな。

Int：って、また言われる訳ですか？

O：そうです。どこに行っても絶対言われますね。

Int：それは別に O さんが言わなくても、周りは分かっちゃってるんですか？あなたは家があるのに、なんで来んだみたいな。

O：その、来る方向からですね。

Int：その来る方向から、あの人は家があると。避難所から来るんじゃないから、分かっちゃうんですね。もし、そういった差別のようなものがなければ、それなりに物入ってましたかね？避難所にいる皆さんは、さっき言った様に貰ってました？

O：入ってたと思いますね。

Int：土地柄とかそういうのは、関係ありますか？

O：土地柄は関係ない。

Int：どこでも起こりそうですかね？気仙沼だからって事もないですかね。

O：聞いた話では、ここだけじゃなかったみたいだし。

Int：あとは、心のケアって何でしょうね？具体的には。

O：心のケアですか？やっぱり、話したくてもできる相手が居ないとか、聞いて貰うだけでも、多分、違うと思うし…。

Int：聞いて貰うっていうのも、もしかしたら、専門家でなくてもいいですか？

O：専門家じゃなくっても、多分、大丈夫だったと思う。

Int：大丈夫だったかも知れない。それこそ、ママ友とか、同じ様な赤ちゃんがいる人とか。

O：そうですね。共感できる人とか、そういう話ができる場があれば、ちょっとは違かったかなっていうのがあったと思うんですけど。

Int：その2週間、情報が閉ざされてて、配給もそんな風に嫌がらせ的な扱いを受けて、非常に苦しいっていうか、悲しい状況でしたよね。やっぱり。

O：そうですね。でも、実際、私達も津波にも遭ってる。遭ってるっていうか、病院の中に津波が入って来てるのを目の前で見てたり、人が歩いてるところに津波が来たりしてたのも見てたのって思うと…。確かに、家を流された人達の方が、一番辛いのは分かるんですけど。でも、その時、誰が一番辛くてとかっていうのは、あんまり関係ないって言ったらおかしいですけど、みんな同じ感情だったと思うんですよ。なのに、そういう風に言われると何を分かってこうやって言って来るんだろうっていうのが一番あって。

Int: そうですね。それから、よくテレビとかで、どっちかっていうと美談が出ていて、赤ちゃんが居ると、みんな優しくしてくれるとか、物をくれるっていうのがなんか出てた気がするけれど、今の話からすると逆っていうか…。

O: そんなの…。それは綺麗事っていうか、全くそんなの関係ないですね。

Int: 私、仙台に居たんですが、仙台は比較的、物資がワーっと入ってたせいもあって。

O: そうみたいですね。その時、うちの次男も仙台に居たんですよ。比較的スーパーとかも、そこまで制限ないっていうか、こっちみたいに、何日もずっと閉まってたとかっていう状況もなかったって言ってたんで。

Int: 仙台だと、比較的子どもには優しくった様な気もするんですけどね。それは、被害の大きさもですが、色々な面でちょっと余裕があったせいかも知れませんね。

O: こっちは全く無かったですね。

Int: あと、原発の問題がアンケートに書かれてますけど、今はどうですか？

O: やっぱ不安ですね。

Int: そうですね。でも、宮城県はあんまり影響ないとは、よく言われてますけど。

O: でも、言われてても、結局、なんていうんですか。今年か去年の夏に、岩手県の方の小さなお子さんの尿から、セシウムが出たとかっていうのを聞くと、宮城県は大丈夫で、岩手県で出てて、えっ!? 宮城県も本当は危ないんじゃないの? っていう。

Int: やっぱそういう心配はどうしても、赤ちゃんっていうか、小っちゃい子が居るとありますよね。今、現実に、何かあるって事じゃないです。気仙沼で何かが検出されてとか。

O: 出た事はないです。っていうか、そういう検査って、やってるところがあるんですかね? 検査をやってくれたり、そういうこの原発問題の放射性物質っていうか、そういうのに関して一切触れてない気がするの。

Int: 最近ね、そういえばあんまり触れてないですよね。

O: 敢えてそういう様に騒がない様にしてるだけなのかな…

Int: なるほど、そういう心配がね。今、検査っていうのは、お子さんの検査って事ですか？

O: そうです。

Int: 福島は今やってますよね、一生懸命。

O: そうですね。やってても、こっちどうなんだろう? あと、宮城県でも南の方っていうか。

Int: 接してる、例えば、丸森だとか。

O: そうです。お金とかそういう問題もあったりするのかな? って思うんですけど。こっちどうなのかな?

Int: 今んとこね、大丈夫じゃないかと言われてるようですけど、接してる丸森辺りはちょっと、放射線濃度がちょっと高いみたいなので。

O: そうなんですか。

Int: 放射線の事、心配してらっしゃる方は、周りに居ますか?

O: 何名か。やっぱり、託児所のお母さん達とかです。ただ、騒がれたくないから、皆、そういう事を口にしないだけであってって言うママさん達もいます。

Int: なるほどね。そうね、今までの政府の対応を見るとね、ちょっと疑いも出てきますよね。

O: そうですね。

Int: あと、今、すごく不安だっていうのは、地震の揺れがあった時だけですね?

O：そうです。

Int：あとは、特別ないですか？普段でも落ち着かないとか。

O：それは、あんまりないです。

Int：そうですか。今、育児に協力してくれる人は、実家のご両親になりますか？

O：そうですね。たまに兄が。近くに住んでるので。

Int：そういう協力は、大体、足りている感じしますか？

O：そうですね。大丈夫です。

Int：今、働いてますが、託児所は、きちんと確保されてるんですね。

O：そうですね。

Int：それでは、逆にこちらに質問とか、こうして欲しいとかありますか？あと、あの時行政がこうしてくれれば良かったとか、多分、いっぱいあると思いますけどね。

O：そうですね。なんだろう…。特にはないですね。

Int：、今日はこれで終わりますので、どうも、わざわざお忙しいところ有難うございました。

P さん：30 歳代前半 経産婦

分娩日 2011 年 5 月下旬 分娩時週数 40 週

Int1：前にご協力頂いたアンケートを元にして、お話を伺いたと思います。今、お子さんの事で何か心配事とかありますか？

P：今は特にはないですね。

Int1：特にはないですか。震災後、最近まで病気とかは？

P：特にはないです。

Int1：今は病院の方にお勤めなんですよ。そちらの方で、何かあったらすぐ対応してもらえますか？

P：できますけど。かかりつけ医は普通の開業医さんなので、そちらの方なんですけど、まあ、今のところは大丈夫ですかね。

Int1：大丈夫ですか。

P：うん。それに書いてたのちちょっと分かんないんですけど、上の子の方は、今でも地震が来ると、地震だ、地震だと言うので、その辺りはちょっと気には掛けてるんですけど。

Int2：地震の時おいくつですか？

P：去年だから、2 歳にまだなってない、1 歳 10 カ月くらいかな。

Int1：地震の時は、お子さんはどちらに居たんですか？

P：保育所に居たんですけど、昼寝の時間だったみたいなんです。でも、同じクラスの子の中で、うちの子だけが地震に気付いて起きて、収まるまで先生にしがみついている。他の子は気付かないで寝たので、その後もそんなに話しに出てこない、会った時に聞いても別にないって感じなんですけど、うちの子は、なんでこんなに怖がるんだろうと思って、たまたま先生に聞いたら、そんな感じで起きてね、敏感だね、みたいな話だったので。

Int1：地震の揺れで起きて、恐怖感としてやっぱり少し残ったんですかね。

P：だと思いますね。大きい地震っていうのが、その 2 日前にも多分あったと思うんですけど、その時は自宅に居た時間帯で、今借りてるアパートが、免震になってるのか、揺れをあんまり感じないんですよ。なので、直接凄い揺れを感じたのは、それが生まれてきてから初めてだったと思うので、余計なのかなとは思うんですけども。

Int1：その恐怖感っていうのは、段々収まって来てそうですか？それともまだ…。

P：1、2 カ月ぐらい前に震度 3 くらいの地震があった時も、やっぱり、「あっ、地震だ、地震だ。ママ、怖いから抱っこ」とかはあるんですけど。最近、地震自体も落ち着いてきてるので、まあ、大丈夫なのかなとは思いつつも、また結構、頻繁になってきたりしたら、ちょっと分かんないんですけど。

Int1：夜泣きとか、どうですかね？

P：夜泣きはたまにはありますけど、何が原因なのかはちょっと分からない。突発的に、1 回あると 2、3 日続いて、また治まってという感じで。ただ、震災後から、特に夜泣きが酷かったとかっていうのはないので、多分、それじゃないんじゃないかなって思うんですけど。

Int1：日常生活で、例えば、他のお子さんとの遊びが上手くできないとか、なにかありますか？

P：多分、ないと思います。

Int1：お母さんに対しての接し方も？

P：大丈夫じゃないかなと思います。

Int1：今のところは少し様子見ながらですかね。ご自身の自宅とか、地震の被害そのものは、なにかあったんですか？

P：うちの実家は津波で被災したっていうのと。

Int2：全壊ですか？

P：大規模半壊。

Int1：じゃあ、かなりですね。

P：あと、行っていた保育園も津波で駄目になって閉園した形で、その後、子どもに関しては、妊娠してたので、別の認可保育所をお願いしてみたんですけど、結局、産後休暇とか、育児休暇になると入れなくて。でも、やっぱり、ちょっと大変なものもあって、他の託児所をお願いして、今、その託児所が保育所になったので、そこにそのまま、お願いしてるっていう感じなんですけど。なので、先ずその預けてたところが被災してっていう部分の環境の変化と、今住んでる自宅が、一部損壊ですね。だから、そんなに大きくなかがっていうあれはないんですけど。

Int1：そうすると、地震後も今の自宅にそのままお住まいに。

P：自宅っていうか、借家。その辺は変わってません。

Int2：津波で保育所がって事だったんですけど、お子さんはその前にお迎えっていうか。

P：津波が来る前に、私が迎えに行き歩いて帰ってきて、荷物をまとめて車で避難して、その途中で、多分あんまり見てないと思うんですけど…。川の向かい側に実家があったので、そこに行こうとしたら、もう川が氾濫していて行けなくて、山越えて別のルート行ったら、今度は向かい側から、津波が来てUターンして戻って、旦那の実家がまた別のところにあるので、そっちだったら大丈夫じゃないかっていうので、行こうとしたら、またそっちからも津波が来てっていう感じで。もし両方駄目だったらここだって思ってたところがあったので、結局、そこに行った後、高校の方に避難したんですけど。その辺りで、もしかすると、若干見てた感はあるかな？

Int2：お子さんがですね。

P：津波だとは、分かんないと思うんですけど。私も津波っては、はっきり言って分かんなかったんで、水道管破裂してんのかなみたいな感じで。あとは、避難所生活が1カ月ちょっと続いたので、外とかであんまり遊べないイライラ感とか、その時にはありましたね。私と子どもは、職場と保育所が近かったんで、そういう感じで避難したんですけど、旦那の方が、被害の大きかった鹿折地区で働いてて、結局、数日間連絡取れなかったんです。そういうのがあったので…。

Int1：皆さん、その心配が大きかったんですかね。

P：私も心配だったし、子どももお父さんが居ないっていうのは分かってたので。私も記憶が定かじゃないので、何か言ってたかまでは、ちょっと分かんないんですけど。そんな感じですね。

Int1：(アンケートの)ここ1カ月の社会資源っていうところで、地域の子育て支援場所の利用。これは、上のお子さん、下のお子さん一緒に連れて行かれてるんですか？

P：多分、児童館だと思います。

Int2：行ける時はそういう支援センターにも…。でも、もうお仕事されてるからなかなか難しいですかね。

P：仕事してて、土日休みだけなので。まあ、殆ど土日は家で一緒に居たりとか、イベントみたいな何かあるってなれば、児童館に連れて行ったりとか。

Int1：児童館では、何人か知り合いの母親の方と一緒にということもあるんですか？或いは、お子さ

んと遊ぶ形で。

P：どっちもあつたりなかつたり。行ってる児童館の館長さんが知り合いで、その娘さんが来ると、同級生なので一緒に遊んだりとか、2つ位上の子も居るんで、少し遊んだりはしてますけど。まあ、お互いに知ってる人が居なくても、子どもは普通に遊ぶので、子どもを通じて、話したりっていうことがあつたりします。

Int1：そうすると、色んな子育て支援とか、そういうのとは別なんですか。あくまでも遊びの方ですか。

P：そうですね。

Int1：因みに、予防接種は何を受けたんですか？今回は。

P：なんだろうな？すいません。

Int2：いっぱいあつてなかなか思い出せないですよ。ただ、順調に受けれてますか？

P：全然。上の子はいいんですけど、下の子が全然。

Int2：それは、やっぱりお仕事をされてるからとかではなく？体調ですか？

P：1回、ヒブか肺炎球菌か、どっちかの時に、1カ月ぐらい下痢が続いたりして、それでもう予定が狂っちゃって。そうこうしてるうちに、仕事が始まって、託児所に預けると、熱出たからとかで、結構、私も休みを使ったりしてて、なかなか行く時間がないのと、子どもの体調がきちんと整わない。予約を入れても、予約を入れると感じ取るのか、体調を崩すみたい。

Int2：なかなか難しいですよ。お母さんの時間とお子さんの体調を合わせるの。

P：そうですね。

Int1：あとですね、ご主人との関係では、満足って事ですが、具体的には、どの様な事で満足感がありますか？

P：普通に。いつもなんでも話しをするので。

Int1：そうすると、色んな相談事を聞いてくれるという事ですかね。

P：ああ、そうですね。子育てっていうか、そういう育児関係とかも。私、今3人目を妊娠してるんですけど、つわりがちょっと辛くて、そういう時も、家事をやってくれたりとか、作るのが嫌な時は、自分でどうにか手配して子どもに食べさせてくれたりとかっていうのはあるので。他のお母さんとかと話しをすると、うちの旦那は何もやらないとかっていう人が多い中で、結構やって貰ってんだなみたいな感じで。

Int2：失礼ですが、ご主人とは同じ職種ですか？

P：そうです。リハ職で、私がOTで、旦那がPTです。

Int1：お互いの仕事を理解してて、このようにやってくれてるんですかね。

P：まあ、どうなんだろう。(笑)

Int1：震災前と震災後で、そういう変わりはないですか？震災後の方がよりやってくれたりとか、震災後はちょっと忙しくて難しいとか、色んな話しを聞いてくれたりとか、或いは、子育ての方でより手伝ってくれたりとか。

P：特に変わりはないかな。

Int1：つまり、今の子育てとかその話しを聞く事に関して、あまり変わらない。

P：変わらないです。かえって、うちの人の方が、職場で津波にのまれて、生死を皆さんと彷徨ったという感じだったので、未だに津波の夢を見るって言うんで。

Int1：そういうのは大丈夫ですか？

P：まあ、大丈夫だと思う。「夢見たんだよね」みたいな感じで話してるので。まあ、今んところ大丈夫かな？ちょっと鬱々としてくる感じとか、仕事とかとにかく影響がってなったら、やっぱりちょっと考えますけど、そういうのはないので。

Int2：ご主人は、津波にのまれた中から自分でどうにか脱出したんですか？それとも、津波が来たところを上へ昇って行って逃げたとかなんですか？

P：話を聞くと、施設勤務なので、施設の利用者さんを普段は電動リフトで入れるんですけど、地震で全部が止まったので、まず浴槽から引き出して上げるところから始まって。あと、1階にいた方を2階に誘導して、そうこうしてるうちに津波が来て、自分は、タンスっていうかの上に乗って、利用者さんも引っ張り上げて、寒い中1日ちょっと水に浸かって。あの、よくテレビでも出る、船がこう行き交うっていうか、行ったりするのを見てたりとか、利用者さんで一人流されてしまった方が居るんですけど、なんか、ベットが流されてったからあれだな…みたいな感じで見てたりっていうのを聞きました。

Int1：今は、特に問題がなければいいと思うんですけど、なにかあれば、どっかに相談した方がいいですね。

P：そうですね。一回「大丈夫なの？」って聞いた事はあるんですよ。そしたら、多分、大丈夫っていう話しはしてたので。

Int1：なにか、震災時のフラッシュバックとかそういう事はない訳ですね？

P：ないみたいです。

Int2：でも、心配でしたよね。連絡が取れなかったですからね。

P：はい。子どもを迎えに行つてなんて言つて、ちょっと無理かもっていうのが最後で、その後、メールしても来ないんで。まさか、津波でそんなことになってるって思わなくて、もう水没してて連絡付かなかったみたいなんですけど。避難所に行ったら、鹿折地区はもう全滅だから希望は無いみたいな情報が入って来て。ああ、終わったなみたいな。一瞬、子どももお腹に居んのにどうすんだ、みたいな感じで。でも、その後に職場の先輩から、その施設の人達が、どこどこに避難したっていうのをラジオで聞いたよって聞いたので、もしかしたら行ったら居るかもしれないって思って、2時間くらいかけて歩いて…。

Int1：歩いたんですか？

P：私が歩いて行ったら、向こうは向こうで、なんかちょうど病院に来る人が居たから、病院に行けば死人とかの情報を得られると思って、一緒に病院に行つてという様な、結局、すれ違いで。でも、次の日に、何時にどこで待ち合わせっていう話しをして、そこで落ち合つて、やっと会えた。

Int1：そうだったんですね。先程の話では、育児に関しては、十分に協力は得られてるっていう事ですね。

P：そうですね、はい。

Int1：それはやはり、自分の支えになってるっていう事になりますね。

P：支えになってんのかな。あんまり自覚としては分かんないですけど、ずっと同じ感じなので。

Int1：やはり育児に協力してくれる方っていうと、ご主人以外にどなたになりますか？誰か、友人とかもそういう色んな相談には乗ってくれるんですか？

P：今のところは、協力っていうのは主人くらいかな。なにかあった時には、友達に聞いたりだとか、「うちでこうなんだけど、どうだった」みたいな話はしますけど。相談できる人は居ますけど、協力をあまりこっちも求めないので、そういうのは特にないですね。



Int1：今、そういう育児に関して、特に困ってる事はないですか？具体的に、相談したい事とか。

P：今はないです。

Int1：今はないですか。これまではなにかありましたか？

P：これまで育児に関してっていうか、結局、保育施設をどうするかっていう部分。今、託児所から保育園になったところに、お願いしてるんですけど。結局それも、場所が何回も変わって、また変わるっていうのも上の子が可哀そうだなって、折角、友達も出来てきたのに、って思うところがあって、下の子どももそこをお願いしてるんです。でも、そこも被災した施設で、新しく仮設の園舎は建てて貰ったんですけど、他の園の園舎とかに比べたら、やっぱり、そんなにしっかりしてない部分とかあったり、先生の数も普通のところと比べたら少ないのかなっていうところがあったりして、そのままにしてもいいのか、それとも、認可保育所をお願いした方がいいのかっていうところは悩んだりしたんですけど。

Int1：そういう選べる場所っていうのは、結構、ある事はあるんですか？

P：あんまりないですね。震災で何ヵ所閉園したのかな。閉園してる場所もだし、今はもう、下の子が1歳過ぎたからいいですけど、何ヶ月以上じゃないと預かれないとか、住んでるところから遠いとなると、仕事行く時の送迎が、結構大変だったりとかするので、結局はあんまりないですね。

Int1：ご両親なんかでは、難しいんですかね？

P：うちの両親は、まだ働いてるし、祖母は80歳を超えてるので、腰痛とか色々あって、難しい。旦那の方の家族も、父親がまだ働いてて、母親と婆ちゃんはもう亡くなってるのと、爺ちゃんはまだ高齢で、面倒みれる環境ではないので。うちの実家は、仮設住宅なので狭いし。だから、環境的にも、人員というところでも、ちょっと難しい部分があるんで。そうやってみて貰える人が居れば、一番、お金もかかかないですし。

Int2：越したことはないですよ。

P：うん。わがままも言えるので、いいんですけどね。

Int2：1歳の下の子が入る時は大丈夫でしたか？結構、ハードルが高かったですか？

P：1歳の子の時は、予め、もうお兄ちゃんが行ったので、1歳過ぎたらそっちにお願いしますって事で。私、8カ月くらいの時から、もう仕事に復帰したので、その時は、下の子だけまた別な託児所に。前に、上の子が行った保育所の先生達が始めた託児所で、未満児でもいいっていう事で、そこに一旦お願いしてたんですけど、やっぱり2箇所の送迎はちょっと離れてるので大変だったので、下の子も移動したんですよ。だから、その辺があればいいかなと思う。

Int1：通ってる保育所の保育士の方に、育児の相談をする事ってありますか？

P：それもありますね。

Int1：あと、お父さんが、自分の事や気持ちを分かってくれたり、相談に乗ってくれたりするんですか？

P：ああ、そうですね。相談というか、今こういう感じなんだけどさ、みたいな話をずっと、お前もそうだったし、妹なんてもっと酷かったから、みたいな感じの話とかしたり。

Int2：お父さんと良い関係ですね。

P：今となると、母親とも結構、話をしますけど、どっちかっていうと、父親の方が仲良いです。自分が爺ちゃん、婆ちゃん子だったんですけど、その次はお父さん子だったので。聞くと、夜泣きしてても、起きるのはうちの父で、母は寝ててみたいな感じで。そういうところが関係するかも分かんないですけど、お父さんの方が話はし易いですね。

Int1：今、お子さんの遊び場ってのは、どこになるんですかね？

P：遊び場は、保育所がメインで、あとは家の中。最近ちょっと寒くなってきましたが、休みの日に天気が良ければ、近所を散歩したり、近くにも公園があって、やっと泥とかも大丈夫になったんで、その辺に遊びに連れてったりとかですね。

Int1：そんなに遊び場には困らないですか？

P：困ってないのかな。上の子は、外で遊ぶのも好きなんですけど、新幹線とかそういう方が好きで、家の中でプラレール走らせたりして、かえって下の子の方が、自分で靴履いて外に行きたいみたいな感じだけど、まだ遊具とか使える年代じゃないので。

Int1：保育士の方も居るようなんですけど、それ以外の専門家っていうか、なんかそういう人に相談する場所、或いは、人とか居ますかね？

P：仕事を休んでた時であれば、保健センターでやってる子育て相談には来てたんですけど、平日にしかやってないので、今は、特にないんですけど。ただ、それに来てた時には、保健師さんとかに話しました。

Int1：そういうのは、結構、役に立ってましたか？

P：役に立つもんと、やっぱりねっていうのと。

Int1：そうですね。今なにか相談で、まだ少し誰か居てくれたらいいなっていう様な人は居ますか？自分が困った時に、今のサポート体制で十分なのか、或いはまた、どういう人が居ればより良いとか。

P：自分の場合は、もう保育所とかにお願いしてるので、それで殆ど満たされてる様な感じはありますよね。あと、たまに予防接種とかで行く小児科の看護師さんとか、先生とかに、子育て相談じゃないんですけど、病気の事とか、気になる様な事とか、症状があれば話して、聞いて貰ったりするので、今のところは大丈夫。

Int1：身体的な事や精神的な事で、最近、ここ数カ月のうちでいいんですけど、気になる様な事は、なにかありますか？アンケートでは、気分がちょっと悪いとか、或いは疲れた感じがあるっていう様な事に印がつけられてますが、これは特に震災後ずっと続いている訳ではないですか？それとも、ずっと前から少し続いているんですか？

Int2：お仕事をもう始められてる状況だったと思いますが。

P：疲れてる。なんでだろうな。多分、疲れはずっとじゃないと思うんですけど、保育所と託児所とまだ2箇所の送り迎えと、あとは、それぞれ持ちものが違うので、そういう準備とか。

Int1：少なくとも、震災の尾をずっと引きずってというのは、ないですね。

P：うん。あと多分、なんだろうな、この感。ストレスとかっていうのか分からないんですけど、震災後に祖父が亡くなったんですよ。震災が100%のきっかけじゃないんですけど、避難所に居て、ずっと、訪問看護師さんとか利用してたんですけど、避難所に居たし、そういうケアしか受けられなくて、そっちのが原因で入院する様になって、結局9月に亡くなってっていう様な感じで。先程もお話した通り、私は、特に爺ちゃん子だったんで、かなりそのショックっていうのが、大きくて。この間1周忌が終わっても、未だにやっぱりちょっと駄目なので、それもあると思う。

だから、震災がなければ違ったんじゃないかっていうのも、やっぱり自分の中にもありますし、避難所とかにも行かなくて済んだので。

Int1：そういう、避難所に行かれて、高齢の方で、亡くなる方も、結構居ましたもんね。ご自身は、震災によって、例えば、ご主人の様に夢を見たりですとか、震災による直接的な影響っていうのはないですか？

P：たまに。結局、後から知った情報でっていうか、映像とかを見て、あれは津波だったんだっていうのが、自分の中に入ってきて、また地震があった時に、んじゃ、この人達とかを抱えて、どうやって逃げればいいんだ、とか、次に地震があったら、同じくらいの津波だとしても、あの湾のところに何も無いから、もっと奥まで津波が来るだろうっていう話もされるんで、そんな時、果たして自分は逃げれるのかって思うので、たまにその津波の夢とか見たりして…。自分の想像の中の津波と、あと映像で見て入って来たもので、そんな時にどうやって逃げる、本当に逃げれるのかなって考えたりとか、同級生とかもちょっと亡くなったりして、やっぱ、急に水圧で押し潰された感じで亡くなってるっていうのがあるから、そういう風になったらどんだけ苦しいんだろうとか、そういうのを考えると寝れなくなるっていうのはありますね。

Int1：そういうのは大体、頻度としてどのくらいなんですか？

P：この間までは、1カ月か、2カ月に1回ぐらいかな。ほんとに、1カ月に1回ぐらいはあったんですけど、最近は大丈夫。そういう夢を最後に見たのは、半年ぐらい前かな、半年までなかったかどうか分からないですけど。

Int2：そうですね。少しずつですね。

Int1：次に、上のお子さんと、下のお子さん、子育てをするに当たって感じる不安とかなにかありますか？震災時は、下のお子さんは、お腹の中に居らっしゃったと思うので、そういった意味で、なにか違いとかは。今の段階で。

P：違いはないとは思いますが。

Int1：震災以降でも、特に変わらなく、同じ様な感じって事ですね。

P：うん、子どもに関しては、殆ど、同じ様な感じ。ただ、上の子は、最初にお話した様に地震が来るっていう部分がありますね。

Int1：そうすると、上のお子さんは、まだちょっと不安っていう面があるんですかね。

P：あるのかなって思うんですけど。どう？って聞いても、100%きちんとした答えは返って来ないので。分からないですね。

Int1：その辺は、もう少し日常生活を見ながらですかね。

P：とか、やっぱり地震が本当に来てる時の反応を見てっていう感じですかね。普段はやっぱり、なんにも言わないので普通なんですけど、地震があると、「あ！地震だ、大きくなるから怖いよお」っていう感じにあるので。

Int1：なにか、その事に対して相談する機会とかあるんですか？またちょっと前の話しに戻りますけど。お子さんがそういう不安な時に、どこかに相談できるとか、専門家に相談できるとか。

P：親自身が、そこまで相談する必要がないと思ってるので、まだ。

Int1：母親としては、そんなに相談する事でもないから、少し様子を見てって感じですね。

P：そうですね。

Int1：分かりました。今、一番は、先程のお話からあった様に、保育施設が少ないって事ですかね。

P：保育施設は少ないですし、アンケートを記入してる時には、願っていた保育所、託児所も、本当の倉庫を間借りしてやってた様な感じで、水周りとかも全然なくて、環境的にもよくなくて。その後、7月後半から、9月上旬にかけて、支援して下さる建設会社さんっていうかが居たんで、建てて頂いて、きちんと水回りとかも整備してある建物になったので。

Int1：それで、そういう整備ってとこなんですかね。今は、それは、大分良くなったんですか？

P：自分が預けてるところは、今は、大丈夫にはなりましたが。それでもやっぱり、実際にまた来年

に3人になると、今のところは認可保育所じゃないので、割引制度があるとかそういうのもなくて、負担額が大きくなるし、認可保育所を考えてるんです。そうした時に、認可保育所が果たしてあるのかなってところが…。

Int2：そうですね。またもう一人増えたらですね。

Int1：この（アンケート上での）収入面って、そういう事も含めての収入面の不安って事なんですか？

P：その収入面は、まあ落ち着いてきたのかな。そんな時の後に、9月くらいから落ち着いてきたと思うんですけど、旦那の行った職場が被災して、収入が半分ぐらいに減ったんですよ。私は、こん時には仕事復帰して大丈夫だったんですけど、前年度分は、ほとんど育児休暇とか取ってたからない状態で、震災で旦那の方もなくてっていう、ボーナスもまだないですし、だから、かなり減って。ああ、どうしようって感じの。

Int2：旦那さんの職場は変わったんですか？結局、どこか別の。

P：施設自体は、ずっとそのままやってるんです。同じ法人の別な敷地を借りてやって、その後に、別の仮設の施設を建てて、今、新しくその近所にまた建ててるんです。震災前までは、入所の方と通所の方のリハビリっていうか、その仕事を中心だったのが、震災後は訪問する形に変わってっていうのとかがあって、仕事のその形態っていうかは変わったんですけど。

Int1：（アンケートで）この食材の安全性っていうのは、やっぱり放射線の問題ですか？

P：それはですね、今は、大分もう考えてないですけど。うちの人の方が、結構、気にしてて。

Int1：ご主人の方が、ですか？

P：うん。大丈夫だから市場に出回ってんだよっては言うものの、でも、本当に大丈夫かねみたいな感じには、思いますね。

Int1：ここに書かれている事以外で、子育て、或いは、子育て以外の事で不安とか、なにか気になる事ってありますか？

P：気になる事は、今は特にないな。

Int2：ちょっと私、聞いてもいいですか？出産されたのが5月の末なんですけど、その時の状態では、育児の支援とかはどうでしたか？もうちょっと、こういう支援があったらよかったとか。今は、あんまり思い付かないって事ですけど。

P：その時には、育児に必要な物品っていうか、店も開いてない状態だったということと、店が開いても、おむつひとつ取っても、結構制限があったり、粉ミルクも何缶までとか、なんかそういうのもあって、どこでそういうのを仕入れるっていうか、手にしてったらいいのかなっていうこと。ただ、ずっと避難所に居て、妊娠してるっていうのは、周りの方も知っていたので、その物品を管理されてる方に、「ここにあんまりもう赤ちゃんとか、そういう子が居なくなってきたし、余ってるから粉ミルクあげるよ」とか、そういうので頂いたりとか。あと、おむつも避難所で中途半端に使って余ったやつを、これあげるからとかそういう感じで頂いたのとかがあったので、かなり助かりましたね。あとは、職場の人とかが、離乳食とか、そういう先々のやつとかを調達してくれたりとか、友人が持って来てくれたりとか。そういうのもあったので、助かったところはありますけど、やっぱり、そういう物をどうしたらいいかっていう部分と、生まれたはいいいけど、病気とかあった時、そんな時はI病院しかなかったの、その子どもの医療っていうか、親はなんとでもできると思うんですけど、新生児の医療面とか、どうしてったらいいのかなっていう部分ですよ。他、思ってたのは、その時も、もし万が一、自分とかが体調壊したら1歳未満児をみってくれるところが、病院以外であるのかなとか。

Int1：そうですね。その不安っていうのは、いつ頃までありましたか？病院みてくれないかとか、出

産後のどのぐらいまでそういう状態が。

P：出産後、元の。I 病院も勿論、定期健診とかは行ってましたけど、今も行ってる開業医の先生のところ、再開したのが、確か 10 月ぐらいだったと思うんです。他にも小児科あるんですけど、そこよりも I 病院とその開業医の 2 カ所を思ってたので、10 月くらいまでかな。あとは、ガソリンが安定してきてとかなってからぐらいですね。

Int2：少し前後しちゃうんですけど、避難所には行かれましたよね。その時、お腹の中に赤ちゃんが居らっしゃって、上のお子さんも居たと思うんですが、周りの皆さんはどうでしたか？妊婦さんに対してなにか、配慮なんかはありましたか？それとも、ちょっと肩身が狭いような。

P：私から言いました。寒い時期だったのもあるし、上の子と二人っていうのもあったので。毛布一つにしても、自分もですけど、やっぱりお腹の子も上の子もいたので、「すみません、譲って下さいって、こうなので」という感じで、自分からもう言わなきゃだなんて思って、自分から言って貰ったのと、あと、やっぱり周りの人も、お腹大きくて妊婦なんだねっていうので、「ここが温かいから、ここさ代われ」とか、そういう声が掛かったので、そういったところでは別に大丈夫でしたね。普通に避難所に居た時も、うちの子もなんか可愛がられる性格なのか、皆さんにおやつを貰ったりして、結構遊びまわってっていう感じだったので、かえって避難所で太ったみたいなの、子どもは。なので、そのあたりは大丈夫でした。

Int2：そうでしたか。診察とか、妊婦健診はいつ頃できましたか？

P：診察は、ちょうど 1 週間後だけに、定期健診の日だったんですよ。ですけど、そんな時には張りとかが強くなって、ひどくなければ来なくていいですって言われて、その 1 カ月後ぐらいだったかな。

Int2：それまでは何もなしですか？

P：しない。もし、おかしくなると変化があったら…。

Int2：来てみたいな。

P：はい。そうですね。でもやっぱりその…。

Int2：心配でしたよね？

P：心配ってよりも、清潔面が保てなかったの、かなり、陰部不快感、痒みとかがあって、その後に、やっぱり少し感染症の気があるから、清潔にしてね、みたいな感じで、すごい話されたんで、その辺はやっぱり大変でした。

Int2：例えば避難しているところで、もうちょっと早く診て欲しかったっていうような不安というよりは、やっぱり清潔を保てるようにしたかったっていうことですね。なにかあったら行けばいいっていうくらいの気持ちで。P さんの場合、職業柄もあるのかも知れないですけど、経産婦さんなので、赤ちゃんが元気かっていう診察よりは、清潔面とかがもうちょっと確保できた方が良かったかなという感じですかね。

P：うん、私はどっちかという、そっちの方が、ですね。避難所と病院も近かったの、なにかあればすぐ行けるっていう感じの安心感があったからいいんですけど。水がっていう部分と、お腹が大きいので、清潔にって言われても、なかなか手が届かないっていうか、なんかそういうのがあって、やっぱりちょっと大変だっていう。そっちの方がやっぱり強かったですね。

Int2：清潔面ですね。分かりました。あと、なにかおっしゃっておきたい事とかありますか？なにかこれといって限った事じゃなくても結構ですけど、最近のなんかご要望とかあれば。やっぱり保育所ですか？

P：うん、保育所関係。私の中では、そうですね。他のところは、どうにかこうにか見つくるってきた

ので。

Int2 : 分かりました。今日は、どうもありがとうございました。

Qさん：30歳代前半 経産婦

分娩日 2011年4月上旬 分娩時週数 39週

Int：Qさんは震災があったときは、2人目のお子さんを妊娠中だったんですね。そして、震災の1ヶ月後に2人目のお子さんを出産なさったんですね。

Q：そうですね、11日に破水して12日に産んだので本当にひと月後ですね。

Int：そうですね。震災前まではかかりつけ医がM病院でいらして、そこで出産なさるおつもりで…。

Q：予定でした。1人目がそこで、何も別に困ったこともなかったので、そこで産むつもりでした。

Int：今回は、震災の影響で、別の病院へ紹介されてという形で。

Q：M病院が絶対に津波でやられるだろうっていう場所にあったので、震災後、ガレキもあるし、私が見に行けないから夫に行ってもらって、そしたらM病院の玄関のところに、I病院の先生には言っているんで、各自で行ってくださいっていうふうに書いてあって。それで、I病院に電話して行ってみたいという感じですね。

Int：I病院に移られて、そこで無事に出産なさったんですけれども、そのときの対応について、アンケートにも書かれてますが…。

Q：それは、しょうがないことではあるけれど、でも何か言って欲しかったなって思うのがあって、結局、M病院とやり方が違うから、そこで戸惑った面があったんですよ。

Int：もし差支えなければ、そのときのことを詳しくお話いただければ。

Q：研修医の人が見てたりとか。あと、そこに書いてなかったかもしれないんですけど、カンガルーケアとかってさせられて、でも別にそれも私が望んでなかったんで。最初生まれてくる前とか、ちょっと子どもの心拍が下がってるみたいとか言われて、生まれてきてもすぐに泣き声を発さなかったりとかしてすごく心配だったのに、ハイハイハイハイってカンガルーケアさせられて、あとみんな居なくなって、そういうニュースをいっぱい見てたから、ここでもし黙って静かになって、このままだったらどうしようと思って、すごい心配になったりとかして。いくらなんでも、ちょっとは時間があったんだから、なんかもっとその話はしたかったなと思う。本当に緊急で行ったわけではないので。

Int：説明が不足していた感じがあるんですね。

Q：たぶんI病院では、バースプラン的なものをもっと早い段階で妊婦さんと話をして決めてたと思うので、その時点ではもう話してたろうって、出産に携わる人たちがそう思ってたと思うんですけど。

Int：今から思うと、その辺のやり取りが。

Q：なんかちょっとなって。無事に生まれたことにも罪悪感がある時期だったので、そこでなんか無事に生んでしまったっていう不思議な気持ちの中で、そういう研修医の人とかが、股の辺りでウロウロされると、本当に過敏にイライラしたりとかっていうのが、多々ありましたね。

Int：そうでしたか。すごく嫌な思いをなさって…。

Q：それが何かにつながるんだからしょうがないよなって思うんですけど。だからそれは、そこに書いてすっきりして忘れようと思って書いた感じ。

Int：そうでしたか、なるほど。あんなに大きな震災の前後に妊娠、出産っていうことがあったわけで、もちろん不安になるのは当たり前なんですけれども、眠れなくなったりとか、本当にイライラしたりとか、そういったことっていうのは、何かございましたか？震災後、特にそういったことは？

Q：イライラはなかったですけど、1 番ずっとずっとと思って、1 年ぐらい自分の中でずっと消化できなかったのは、生きててごめんなさいっていう。無事にお腹の中に生きてる命が今あって、2 つの命を自分が今持ってて、無事に生んで育てててことをごめんなさいってずっと思ってました。

Int：今もそれは。

Q：親戚で同じ時期に妊娠して、同じ時期に出産する予定だった子がいて、その子が亡くなったんですよ、震災で。1 年経った頃に、その子のお兄さんのお嫁さんが出産したっていう噂を聞いて、それでも、私いいやって思って、その話を聞いてちょっと吹っ切れたんですけど。私が負い目をもっているもんじゃないんだ、もういいやって思って、そこからなんかあんまり…。それまでは、しょっちゅう震災のことを夢に見たりとかしてたんですけど、全く見なくなっただけで、自分の中で何か消化できたのかなってそのときに思って。

Int：そういう罪悪感というような、そういったお気持ちっていうのは、今から考えると震災によって…。

Q：そうですね。周りから誰が死んだ、誰が死んだって。

Int：ご親戚の方もね。

Q：何人も。友人も亡くなったし。

Int：お一人目のお子さんのときはそういった思いはなかったんですね。

Q：なかったですね。

Int：そういう経過があったということで、ずいぶんお辛かったんじゃないんですか？

Q：でも、家族を亡くしたり、家をなくした人に比べたらいいのかなって思うし、そう思わないといけないとも思うし。

Int：お家は確か一部…。

Q：一部っていっても、なんか壁紙が破れたぐらいで何か問題があるっていうふうでもなくて。

Int：そうですね。じゃあ、十分に継続してお住まいになれるような状態だったんですね。分かりました。今から思うと、こういった混乱した状況の中で、本当に生まれたばかりのお子さんと、あと上のお子さんがそのとき 2 歳でしょうかね。

Q：1 歳 8 カ月ぐらいかな。

Int：そうすると、ちょうど目が離せなくなって危ない時期ですよ。そういったときに、例えば日々の買い物ですとか、いろいろ用事があるときなんかは、どのようにされてたんですか？

Q：それは、私の場合、全部実家の母に託してました。

Int：ご実家は近いんですか？

Q：近いんです。すごく近くて、実家も無事だったので、うちも無事なのに、夫も子どももみんな、実家に行って、ちょっとでも人がかたまってた方が、何かと便利だったので。1 人目のときが、36 週で生まれてちょっと早かったんですよ。それで、次も早いかもしれないから気を付けてねって先生に言われてて、でもこんなことが起きたから、なるべく世の中が安定するまでは生まれてほしくないって私も思ったし、みんなも思ってたので、とにかく私のことは取りあえず寝せておいて、買い出しとか子どもの世話とかは全部他の人がやってくれた状態でした。

Int：そうですね。他の人というと、お母さま以外にも。

Q：お母さんがほとんどですけど、割とお祖父ちゃんもおんぶしたりして。

Int：じゃあ、ご家族、ご親戚の協力でその時期を無事に過ごしたと。今から思うと、例えばこういっ



た支援があると、もっとよかったのになっていうことはございますか？

Q：こういった支援っていうか、別に市役所本体自体が被災したわけでもないんだから、妊娠した人がどこにいるって情報はあったと思うんです。なんのために妊娠届って出すんだらうって思って、なんの情報もないまま、こっちで探して、病院行ってみたいな感じだったから、ちょっとそこからして。

Int：そこからして、ちゃんと提出すべきものは提出しているのだから、いろいろな情報をね。

Q：何のためにあるのかなって。そういうのって何の共有もなされてなかったんだって、そこにまずびっくりして。

Int：具体的には何をするのに困ったとか、例えばありますか？他に。

Q：動けないので困りましたよね。車も運転もできない状態だったし、1人で生きていけないし、私は家にいたからいいですけど、もし避難所にいたんだらどうなっていたのかなと。お風呂はどうだったんだらうとか、トイレはどうだったんだらうとか。

Int：妊娠している人が、ここに住んでるよってというような情報が役所にあるのだから、車も動かないし、物資もってというようなことを考えて、その情報を大事にして、ちゃんとしかるべき支援をしてほしいってということでしょうか。

Q：私は、まだ恵まれていた方だから、そういうふうに思うのかもしれないですけど。

Int：そうですね。ご家族が近くにいらっしゃったので、いろいろとサポートを受けることができたけれども、もし…。

Q：もし本当に、夫も帰ってこなくて、親もそばになくて、子どもと2人でいたら、どうだったのかなと思うと、本当に怖いですね。

Int：ご主人は、震災の影響で戻って来れなかったりしたんですか？

Q：うちは、すぐに戻ってきました。もしそうだったらと思うと本当に。なんか、臨月のお腹で、子ども抱っこして、炊き出し並んだとか何とかってのを聞くともう。

Int：お友達で？

Q：テレビとかでよく聞くじゃないですか。なんか、もし、私だったらもう無理だったなっていうか、たぶん早産とかで生まれてたんだらうとか。

Int：実際に、その被害の状況といたしますか、体験なさったのは…。

Q：私は何も見てないんです。家にいたんです。ただ揺れて、家が壊れるって思ったぐらい。壊れなかったから、ああ、よかったみたいな感じ。

Int：じゃあ、地震の揺れという体験をなさったわけですね。

Q：気を失いそうになりながら。2回ぐらいフッと意識飛んで、でもここで転んだらやばいと思って。

Int：揺れてるときですか。

Q：揺れてるときに“ふぁ〜”となって、もう駄目だ、転んだらお腹が…と思って、意識飛ばないように、なんか叫んでみたりとかして。

Int：そうでしたか、そのときに上のお子さんは？

Q：実家に1人で置いてて、私は私で自宅にいて。

Int：そうだったんですね。ご実家は近いんですか？

Q：すごく近いです。車で5分ぐらい。

Int：じゃあ、歩ける距離ですね。

Q：歩くのはちょっと、坂があるので無理かな。

Int：そうでしたか。それで出産をI病院でなさって、何日ぐらいで退院を。

Q：普通に5日ぐらいで。

Int：お戻りになってですね。今まで通りに生活は、家族でできたってことですね。今もうご出産なさって1年半ぐらい経ちますけども、お二人目のお子さんでしたが、例えば産後に助産師とか保健師が1カ月訪問みたいな形で伺うと思うんですけども、そういった支援といますか…。

Q：1回来ましたね。

Int：そのときに十分にお子さんのこととか、いろいろなこと相談できましたか。

Q：あんまり上の子ほど手が掛からなかったので、普通にお話しして、さようならみたいな。

Int：子育ても順調に過ごされて。今日は、お子さん達はどちらに？

Q：実家に預けてます。時間も時間だから昼寝の時間だなと思ったので、実家に2人とも先に連れて行って、ご飯食べて、寝せて出てきたっていう感じです。

Int：今もご実家の協力を得ながら、何かあるときは頼ってということなんですね。一時預かりに困っているとか、そういったことは。

Q：ないですね。

Int：ご家族のご協力が得られてるんですね。はい、分かりました。あと、他の方へのインタビューでいろいろとお聞きしたのは、避難所への支援っていうのは、結構いろいろとあるみたいなんだけれども、お家が無事だったりすると、そういった支援が薄いといますか、そういった印象を話される方が、結構多いんですが…。

Q：本当にないですよ。市からいただいたことなんてないです。

Int：物資ですか、それは。

Q：何も情報も普通の広報とか以外で来たことはないし。別にうちでもらいに行ったりとか、情報聞きに行ったりすることもないですけど。もらった人、避難所とか仮設に入ってる人がうちにちっちゃい子がいるからとかって言って、多めにもらってきてくれたりするのをもらったりとかっていうのはありますけど。

Int：例えばこの震災によってご主人さまのお仕事に何か影響を受けたとか。

Q：ほとんどないですね、ほとんどないっていうか、会社自体は流されてしまったんですけど、2週間ぐらいでプレハブ建てて再開したので。

Int：その分残業が増えたとか忙しくなったりとか。

Q：むしろ残業減ったので、一時何か月かは結構基本給しか出ないから、ちょっとやりくり大変だよなみたいな感じはありましたけど。

Int：でもお給料はちょこっとは下がったけれども、早く帰ってくるようになったということで。

Q：普通にもし何もなく生まれてたら、夫がむしろ残業でもともとすごく遅かったの。

Int：遅いっていうのは、大体どのぐらいなんですか。

Q：早くて21時とか20時とかで、遅いと午前様みたいな感じで。

Int：ほとんど夕飯は一緒に食べれないような感じで。

Q：お風呂入って先に寝てます。だったの、出産して退院したら、すぐに自宅に帰って子どもと夫との4人暮らしに戻るつもりだったので、どうやって子どもを2人お風呂に入れたり寝かしつけたりしようって思ってたんですけど、震災があつてまず1カ月は、普通に早く帰って来てくれたので、何とかお風呂のことは心配せずに済んで、それだけは震災様々だったねって言って。

Int：もともとじゃあそういった勤務体制だとご主人が育児を手伝ってくださったりとか。

Q：意外とします。だから、私は恵まれてるんです。実家の母も側にいて手伝ってくれるし、みんなやってくれるので。

Int：そうなんです。もともとご主人からのそういった支援は。

Q：ありますね、もともと。何でもできます。

Int：ご主人に対しての満足度が「大いに満足」ということで、1番高かったんですけど、そういうことがあるんです。これご主人に見せてあげたいですね。奥様がこういうふうにしてらっしゃいますって言って。

Q：大いに満足ですよ。「だべもの、おれやってるもの」って言うんじゃないですかね。

Int：そうすると、育児のこととか、今回の震災のこととか、嫌な思いなされたこととか、そういったことも、ご主人とはいろいろお話しされたり。

Q：いろいろ言って、すっきりしてっていう感じで。

Int：そうなんです。分かりました。普段、ご主人が忙しいと、育児のことはなかなか難しいですか？

Q：私、毎日育児日記として「今日、何があった。お兄ちゃんが何をした。弟が何をした。」みたいなことを書いてるんですけど、家に夫が0時とか遅くに帰って来て、1番最初にするのが、それを必ず見ることなんです。それを見るのが楽しいみたいで、子ども達の成長をちゃんと私と一緒に共有してみたいんです。何ができるようになったんだねとか。

Int：2回目のアンケートで、ちょっと気分や健康状態が悪かったってところに印がありますが…。

Q：その時のって書いてあったので、本当にその時のことを書きました。なんか友達とちょっとギクシヤクっていうか、もうご飯も食べたくないっていう時期があって。

Int：それでなんですかね。そういうことがあったけど、今はもう大丈夫ですか？

Q：もういいやと思って。

Int：悩みとかそういったことがあっても、相談できる方に相談をしたり、考えたりして、クリアしていらっしゃるってことですね。はい、分かりました。このとき、体調も悪かったんでしょうか。

Q：ですね。なんかこの時期、風邪もすごい引きやすかったりとか、ずっと頭痛薬飲んでたような気がしますね。でも、夏過ぎたら治って。

Int：睡眠は、今は大丈夫でしょうか。

Q：今はもう。

Int：この時期そういうことがあったってことですね。

Q：なんか人格否定されたんですね、その友人から。私っていらぬのかなって思ってしまった。

Int：ちょうどこの時期に、そういうことがあったんですね。その友人っていうのは、結構、相談相手になってくれてた人なんですか？

Q：中学校のときからの友達で、昔はすごく仲がよかったんですけど、女の人って結婚して、子どもを産んでっていうふうに、だんだん立場が変わってくると、関係性も変わってきたりするんですよね。そして、あっちはお家が被災したりとかして、うちは被害が何もなく、いつも被害妄想の人で、自分の人生うまくいかないのは誰そのせいだ、何そのせいだっていう感じの人だったので、今回のことも誰かのせいにしたかったのかな。なんか色々言われて、「そうだね、そうだね、ごめんね、私が悪かったね、はいはいはいはい」って言って、もうこれ以上は、近づかないでおこうと思って。それで、体調を崩したっていう感じです。

Int : 長いお付き合いのお友達だったら、余計にがっかりしちゃいますよね。分かりました。今この時点で、何かお困りになってることとか、これだけは伝えておきたいみたいなことは、ありますか？ちょっと漠然としていると思いますが、今、お母さんがこうやって近くにいられて、子育ての協力を得られてると思うんですけど、それ以外にあった方がいいというようなことはありますか？例えば誰か専門家に相談できる機会とか。特にそういう必然性はないですか、今のところ。

Q : 専門家って聞いてピンと思うのは、上の子が会話がまだ全くできないんで、そういう専門家がいたらなって思うんですけど。子育て相談会とかがあるけれども、聞きに行っても別に聞くだけで答えが出ないので。あなたで分からないのならば、専門家に聞きたいんだけどもってというような趣旨で言っても、今回はちょっと様子見てみますか、みたいに言われたり。

Int : 定期的な3歳児健診とか何歳児健診とか、そういうところでは、相談できていますか。

Q : うん、その度になんとかしてます。月に1回ある子育て相談会にも何回か行って診せたりとかしてるんですけど、そんな感じなので。

Int : 上のお子さんが、その震災前後で様子が変わったなということ、お母さんの目から見てないですか？

Q : それはないです。

Int : 震災前後で、例えば寝ているときの状況とか、遊んでいるときの状況とか、そういうことの変化は感じないってということですね。そうすると、お母さんとしてみたら、はっきりとした何か答えというか、アドバイスなりがいろいろと欲しいわけですね。

Q : 答えがっていうんじゃないですけどね。なんか話が全く通じないから、全く落ち着きがなくて、まだ3歳ちょっとなので、1人では何もできないんですけど、それに対してこっちがたまに、あっちもこっちもだったりすると、すごくイライラしたりして、それで子どもとギクシャクしてしまうときがあつて。それだったら、なんで喋れないのかとか、実は心配ないレベルなんだよってということとかを専門家なりに診てもらって安心したいし、もしも何か本当に障害的なものがあるなら対処の仕方とかも多分変わってくるんだろうし。それらを聞きたいから専門家に診てほしいんだけど、そのレベルかどうか診てもらいたいって言うてるのに、「なんでこんなにかわいいのに、ママ、なんでこんなにかわいいのに、もっとやりとりして話すればいいんだよ」って言われて帰されるんですよ。私が愛情がないように見えるんだ、私がちゃんとやり取りして会話してないようにとられてるんだと思って、なんとなく落ち込んで帰りたいな感じで。結局、どこにそういうのがあるのかも、まず気仙沼にあるのかも分からないし、子育て相談会以外に聞くチャンスもないし、さてな〜と思いながら、子どもの成長を首を長くして待つって感じ。

Int : 相談してもちょっと思うような答えが返ってこなかったり、逆にちょっと攻められたりとかするような感じの対応があるってということでしょうかね。そういったことも、全部お母さまとかご主人とお話をできているんですね。そういうものは、どこか保健所で窓口みたいのはないんですかね。

Q : 結局、子育て相談会が窓口になってしまうんだと思うんです。だから何回も同じことを言いに行くのも、こっちも気持ちが疲れるので、取りあえず夫と話して、来年の3月にまた3歳半健診があるので、そのころまで様子を見て、駄目なようだったら、もう向こうが何と言おうと、そういうところの電話番号なりを聞いて、診せに行こうっていう話をしています。

Int : お子さんはこちらから話すことはある程度分かりそうですか？

Q : ある程度理解してるみたいだけど、他と比べるなって言われても比べてしまうぞっていうようなレ